

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	和田愛児園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 田口 威	定員（利用人数）：	127（129）名	
所在地：	240-0065 神奈川県横浜市保土ヶ谷区和田2-16-13			
TEL：	045-331-4534	ホームページ：	<a href="https://wadaaijen-yokohama.com/">https://wadaaijen-yokohama.com/</a>	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	1952年1月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人ピアッツァ			
職員数	常勤職員：	25名	非常勤職員：	11名
専門職員	保育士	32名	栄養士	2名
	看護師	0名	調理員	1名
	用務員	0名		
施設・設備の概要	居室数：	保育室7室、調理室2室、園庭、事務室、職員室2室		
	設備等：	駐車場・駐輪場、足洗い場、屋上プール、裏山		

## ③理念・基本方針

保育理念は「児童福祉法・児童憲章の精神に基づき、より良い環境で心身ともに健やかな児童の育成を目指し、生きる力の基礎を養う。」である。保育方針としては、「健康で安全な集団生活の出来る子ども」「集団の中で創意できる子ども」「みんなと仲良く出来る子ども」の3つを掲げている。また、法人の経営理念として「地域に根ざし、地域に貢献し、地域一番の保育内容を目指す」「現状に満足せず、新しいことにチャレンジし、創造に努める」「保育の質・保育環境の向上に最善をつくす」を掲げ、取り組んでおります。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

園の運営法人は社会福祉法人ピアッツァです。開園は昭和27年で創立70年目を迎えました。園は相鉄線和田町駅から徒歩6、7分の所にあり、周辺は園のすぐ近くを国道や主要道へのバイパスがあり、マンションや商店などが立ち並んでいます。

園の定員は127名で令和4年9月現在129名が在籍し、延長保育や障がい児保育などを実施しています。園は広い敷地に2階建て乳児舎と別棟の2階建て幼児舎があり、乳児舎の園庭には、柿やザクロ、びわ、みかん、くぬぎなどの木々があり、また、幼児舎の園庭には、びわやしいの木などの木々をはじめ築山、大型アスレチック、鉄棒などがあります。幼児舎の園庭にナイター設備を用意しており、子どもたちは夕方遅くまで裸足などで遊び回っています。また園の裏山は「やまのあそびば」になっており、子どもたちは、ロープを伝ったり、木の実や落ち葉を集めたりして、自然に触れ、伸び伸びと体を動かし遊んでいます。子どもたちは近くの公園も散歩に利用しているほか、園バスによる園外保育で野毛山動物園や横浜こども科学館などへ出かけています。室内では子どもたちの心を豊かにはぐくむために、絵本の読み聞かせに力を入れています。園の活動の様子はホームページや園のパンフレットに掲載しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月15日（契約日）～ 2023年1月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆園庭や裏山など自然を満喫できる環境で自発的に興味、関心を広げています

園の保育方針に「子どもの遊びは子どもの育ちには欠かせない、生きる力の基礎」とうたい、さまざまな遊びを推進しています。園児は近くの公園に散歩に行ったり、ナイター設備のある幼児舎の庭で大型アスレチックや築山、砂場、鉄棒などで夕方遅くまで遊んだり、園の裏山では虫やどんぐり、落ち葉など季節ごとの自然に触れ、風の香りを感じ、感性をはぐくみながら、伸び伸びと体を動かし遊んでいます。3～5歳児は週1回の専任講師による「運動遊び」や5歳児の月1、2回のスイミングクラブでの「水泳教室」があり、また外部の専門家の協力を得て、海岸での磯遊びや砂と土の遊び、虫の観察、和紙すき体験など「自然遊び」を深めています。

##### ◆絵本の読み聞かせ活動で子どもたちの言語能力や想像力をはぐくんでいます

園では所有する約2,000冊の蔵書を基に、「本の読み聞かせ」活動に力を入れています。絵本の読み聞かせには、3つの効力があるとして、一つめは「人の話を聞くことが楽しくなる。人の話を聞くことは社会生活、学習行動の基本でこれが身に付く」、二つめは「本が好きになり、自然に読書習慣が身に付く」、三つめは「思いやりのある豊かな心が育つ」としています。保育士は毎日必ず1回以上クラスごとに違う絵本を読み聞かせて、子どもたちの言語能力や想像力の向上を支援しています。また、園で読んだ絵本のリストを保護者に配付し、家庭でのフォローなどに役立てています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を5年ぶりに受審し、園の現状について再確認することができました。その中で「強み」と評価頂いた部分に関しては、引き続き継続できるよう取り組んでいければと思います。また、足りない部分に関しては、実際に行っているのに記録がないといった点がいくつかありましたので、園でフォーマットを作成するなどし、しっかりと記録に残した上で全体で共有できるような仕組みを構築していければと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり